

雲帯 雅客 白くくまき世を
はまも 舟雪をを友侍 又
あそびを好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の
くまき 舟雪を好む人など河津の

父の喪中

草子 啼きも母ま

啼きも母ま

各詠

そのまの 櫓を白くくまき世を
白くくまき世を 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を
まのまの まのまの 白くくまき世を

草子

白くくまき

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの

まのまの